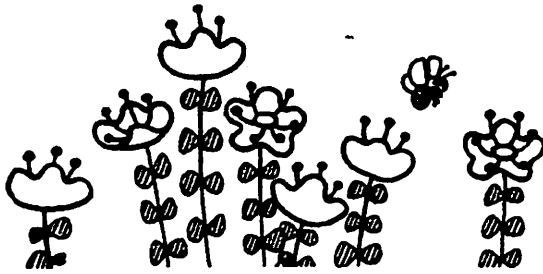


2年生のかん字

160字



数字ははげみの番号

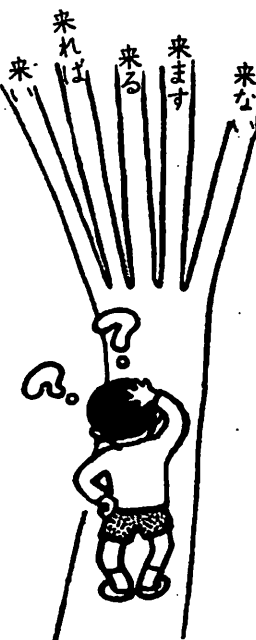
24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9
鳥	理	直	話	時	遠	新	地	野	電	朝	家	店	知	刀	春
鳴	図	丸	読	分	近	古	番	原	間	昼	親	売	引	切	夏
馬	画	答	聞	自	道	内	体	岩	週	夜	父	買	止	弓	秋
牛	工	考	書	半	歩	外	頭	里	毎	明	母	市	元	矢	冬
魚	作	当	紙	教	走	細	顔	池	何	光	兄	場	形	心	東
長	絵	合	記	室	行	太	首	海	曜	晴	弟	米	用	思	西
高	色	計	算	組	来	多	角	船	回	雲	姉	麦	万	今	南
黄	楽	社	数	国	帰	少	毛	汽	午	雪	妹	茶	同	広	北
黒	歌	会	点	語	交	強	羽	台	前	風	友	食	公	寺	方
戸	声	科	線	言	通	弱	肉	谷	後	星	才	活	園	門	京

● かん字についての話 その2

☆ おくりがなは、かん字の よみ方を はっきりさせる、たいせつな ものである。たとえば、「来る」という ことばには、こんな に たくさんの わかれ道がある。

「来る」
 来ない → こない
 来ます → きます
 来れば → くる
 来れば → くれれば
 来い → こい

「ない・ます・る・れば・い」という おくりがなは、「来」という かん字の よみ方の 道しるべの 役めを はたして いるのである。つぎに あげた おくりがなにも ちゅういしよう。



上げる……あげる
 上る……のぼる

行く……いく
 行こう……おこなう

生きる……いきる
 生まれる……うまれる

明るい……あかるい
 明ける……あける
 明らか……あきらか

平ら……たいら
 平たい……ひらたい

重い……おもい
 重ねる……かさねる

後ろ……うしろ

自ら……みずから

計る……はかる

話し合う……はなしあう

曲がる……まがる

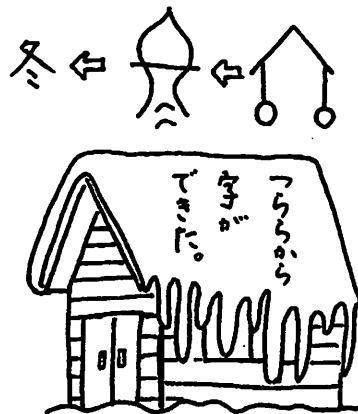
整える……ととのえる

落ちる……おちる

止まる……とまる

和らぐ……やわらぐ

- 1 らしい、よい 天気だ。 ぶんの。 おだやかな、の日。
- 2 みに ひろった 貝がら。
- 3 ぶんのは しゆく日だ。 になると 赤い みが なる。
- 4 みんなをする カエルたち。 みに スキーをする。
- 5 へ うごいていく くも。 へ いく。
- 6 ようナシは おいしい。 の。
- 7 ごくだけに そだつ くだもの。 の くには、雨が よく ふる。
- 8 きよくの こおり。 ピューピュー かぜが ふいた。
- 9 かきのじかん。 空をとぶほうを かんがえる。
- 10 しんかんせんで とに いく。



11 ちょうこく□で手を□った。ふるい□□をだいじにする。

12 しん□ないところ。□□あつめをやめた。くすの木を□りたおした。

13 □□のような月が出ています。□□をいる名人。

14 □□じりしの方こうにすすむ。

15 火のよう□をしましう。□□にしみるようなふえの音。□□ぱいになってきた。

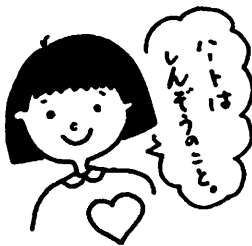
16 カのこもったふ□□きなこえ。よく□□い□□してくれましたね。

17 □□しゅうのきゅうしよくとうばん。□□の目あて。おとうとは□□、二つです。

18 □□いおりの中をゆうゆうとあるくライオン。

19 お□□の大きなすぎ。□□いんのかねになる。

20 □□□□に入った。



しんぞうが、「しんぞう」という字になった。



21 お^しらせを まちがいなく つたえる。 あの子は もの^しりだ。

22 うんどうかいの つな^ひき。

23 うんどうかいは 雨で ^{ちやうし}。 水車が ^とまって しまった。

24 いかにも ^{けん} ^き そうな 男の子。 ^{がんじつ} ^の あき。

^ひ ^の ^{もと} ^を 目がけて 水 を かける。

25 ^{にんぎやう} ^の ^{つくり} ^の ^{ゼット} ^{じい} ^{さん}。

じどう車の ^{かたち} ^の ^に がようしを 切る。

26 ^{よう} ^の ^じ ^が ^{ある} ^{ので} かえります。 どうぐを ^も ^ち ^に ^い ^る。

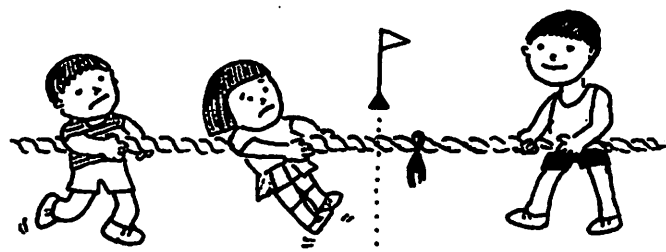
27 かぜは ^{まん} ^の ^び ^{よう} ^の ^元。

28 きよう ^の ^で ^{つか} ^う。 ^{おな} ^の ^じ はばで みぞを つける。

29 ^{こう} ^の ^{みんな} ^の よこの ^{こうえん} ^の ^で あそぶ。

30 どうぶつ ^{えん} ^の ^で キリンを 見る。

つなひき



弱^{よわ}
い

引^ひ
く

強^{つよ}
い

31 しょう の 大うり出し。 ばんを する。

32 えきの で ガムを った。 いろいろな えんぴつを する。

33 いものの お手つだいを する。 花の を する。

34 なごや ないに すむ おじさん。 へ いった。

35 こう の 見学を する。 の しょをおしえる。

36 はやく しん が たべたいな。 や むぎを つくる。

37 パンは から できる。

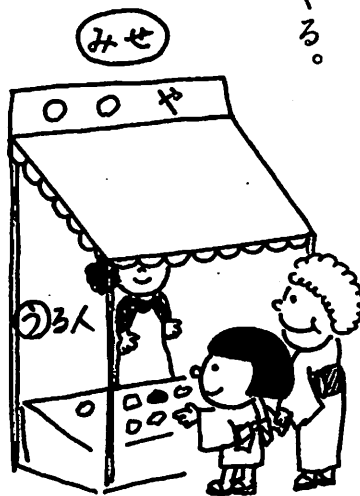
38 おとうさんと ふみを した。

39 いろの うさぎを さがそう。 お を のもう。

40 きゅう が たのしみです。 べながら あるいては いけません。

41 どう で ひるごはんを すませた。 いつきそうな 犬。


42 学校 の たのしさを かく。 つどいで どうする。



か うれ

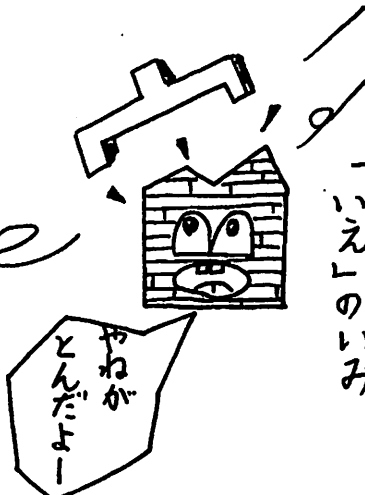
才	友	妹	姉	弟	兄	母	父	親	家
サイ	とも ユウ	いもうと	あね	おとうと ダイ	あに キヨウ	はは ポ	ちち フ	おや・したい シン	や・いえ カ・ケ
一才	一ナ方友	くく女女姉姉妹妹	くく女女姉姉姉姉	、ソウ当為弟弟	、ロロ兄兄	、クク母母	ノハ父父	、ニナキキキキ親親親親	、ハハ家家家家
天才 七才	友人 親友 友だち	妹	姉さま 人形	兄弟 弟	兄	ほ母 父母	父親	親切 親るい 親子	家ぞく 家らい

2年



手を二つかさねたかたち
手をかさねて
たすけあうから
ともだち

友 ← 交



「いえ」のいみ
「うかんむり」は
家のやねのかたちから

あねが
とんだよー

家

41 ぞくで どうぶつ園に 出かける。 王さまの らいになる。

42 な ともだち。 で ゲームを した。 るいの へいく。

43 おとうさんが さんかんに 出た。 と 手をつないだ。

44 おかあさんは です。 の日に、カーネーションをかざる。 やさしい

45 は 学校へ いった。

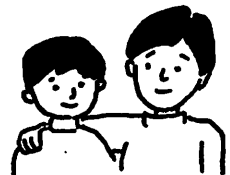
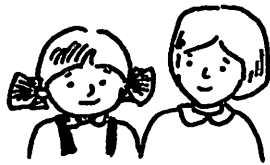
46 おさない の の の の本を よんだ。

47 と 二人で 学校へ かよう。 さま を から もらう。

48 よし子は ぼくの です。

49 田中さんは わたしの です。 だちと キャッチボールを しました。 の 。

50 今、ぼくは です。 あの子は です。



51 れいで 先生の はなしを きく。 いそいで 出かけた。

52 みに、ボールで あそぶ。 きょう ごろ 雨が ふるそうだ。 をとる。

53 は きれいな です。 の ばんに タヌキが おどる。

の空を いろどる 天の川。

54 中川くんが せつ する。 月の るい、しずかな 。 ねむらないまま が けた。

55 草花に が あたる。 雨の しずくが っていた。 お日さまの を あびる。

56 ずっと が つづいた。 れた日に、公園に いく。

57 青い空に い が うかんでいる。 ひこうきから かいを見下ろす。

58 大きな だるまを つくろう。 こな の ふる 中を 山にむかった。

59 店で せんを 買った。 に むかって を まわした。

60 に むかって ロケットが とぶ。 の空を いろどる ぎ。 を ながめる。



61

は の力で はしる。

62

じ を まもろう。 ぼくたちは だ。

63

冬休みが ある。

64

ぼくは 本をよむ。

65

みかんを こ食べたのか。

66

今日は だ。

67

うでを も す。

68

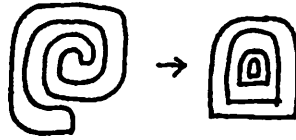
は 昼の十二じのことだ。

69

わたしは、 六じに おきる。 の に 犬がとび出した。

70

三じに 家にかえる。 きゆう食の 。 ろを見る。



ぐるぐると回るうずまきの形
をえがいた字、「回る」という
をみわす。

谷	台	汽	船	海	池	里	岩	原	野
たに	タイ・ダイ	キ	ふね・ふな セン	うみ カイ	いけ チ	さと リ	いわ ガン	はら ゲン	の ヤ
ハハク父谷谷	ムム台台	、ニシシ汽	ノノ舟舟船船	、ニシシ海海	、ニシシ池	、ニシシ里	、ニシシ岩	、ニシシ原	、ニシシ野
谷川	朝れい台 ぶ台	汽車	海ぞく船 船	海かん海	電池 ため池	ふる里 人里	岩石 岩かけ	野原 草原	野きゆう



あらわす。

に出る「ゆげ」を

キ…水をわったとき

「いきおいよくうま

いきおいよくうま

あらわす。

ながれるよさを

カツ…水がいきおいよく

池
いけ
海
うみ

さんずい(水にめんけいがある)

2年

71

ぼくは きゆうが すきだ。

72

で あそぶ。 広い 。

73

が ぐだけて すなになる。 かげに かにの親子が いる。

74

母のふる は 緒川だ。 はなれた 山おくにすむ。

75

かん を つかう。

ため では あそばない。

76

がんで 貝をひろう。

大きな で およぐのは 気もちがよい。

77

ぞく が あらわれた。 におる。

78

大きな が とまっていた。

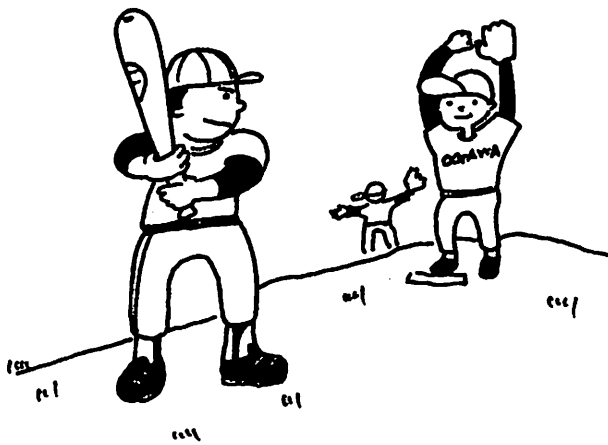
79

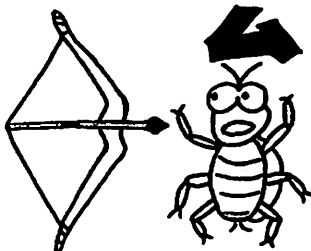
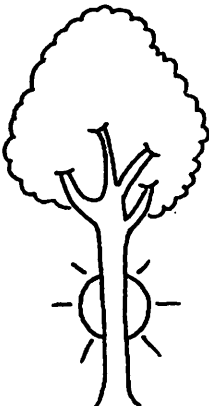
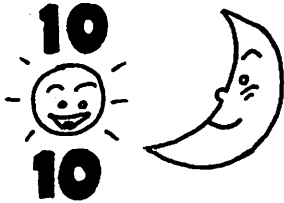
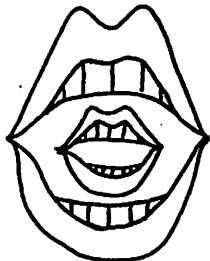
れい で 校ちよう先生が はなしをされた。

ぶ で おどった。

80

の 水は つめたい。



肉	羽	毛	角	首	顔	頭	体	番	地
ニク	は・はね	け モウ	つのカク の・かど	くび シュ	かお ガン	あたま トウ・ズ	からだ タイ	バン	チ・ジ
一口内内肉肉	羽羽羽羽	ニニ三毛	ノクア角角角角	首首首首首首	顔顔顔顔顔顔	頭頭頭頭頭頭	体体体体体体	番番番番番番	地地地地地地
ぶた肉 肉食	羽	毛ふ 毛糸	三角形	首かざり 首のうぶ	顔いろ 顔めん	先頭 頭	体そう	るす番 番番番 一番	大地 地めん
								この絵はどんな漢字かな？	

2年

81 木は に ふとい ねをはる。 めんに 光が、あたる。

82 るす を した。 かずおくんの ごうは です。

83 そうの じ間。

84 から めんに おちた。 を はしる。

85 いろが わるい。 ボールが めんに あたる。

86 クローバーの かざりを つくった。 のうぶの 活どう。

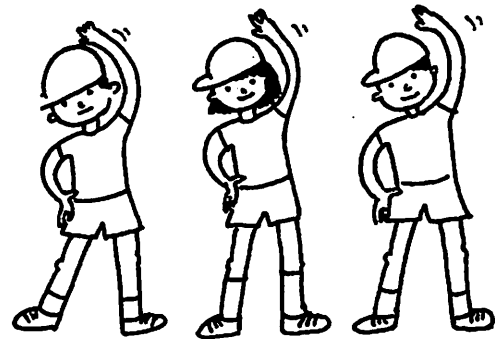
87 を かく。 に が はえる。 を まがる。

88 ふを ひっぱり上げた。 白い の セーター。

89 カラスの の音。

90 ライオンは の どうぶつです。

ぶた を 食べる。



こたえ ㊦回 ㊦東 ㊦強 ㊦朝

弱	強	少	多	太	細	外	内	古	新
ジャク よわい	キヨウ つよい	シヨウ すくない・すこし	タ おおい	タ・タイ ふと	サイ ほそい・こまかい	ガイ そと・ほか・はずす	ナイ うち	コ ふるい	シン あたらしい・あらた
ㄣ コ 弓 弓 弓 弓 弓 弱 弱 弱	ㄣ コ 弓 弓 弓 弓 弓 強 強 強	丿 小 少	ノ ク タ 多 多 多	一 大 太	く 么 糸 糸 糸 糸 糸 糸 細 細 細	ノ ク タ 外 外	丨 口 内 内	一 十 古 古	・ エ ナ ハ カ 立 立 辛 辛 辛 辛 新 新 新 新
強弱 きょうじやく	べん強 きやう 強い力 つよちから	多少 たしょう 少年 しょうねん	多すう たすう	まる太 まるた	細い糸 ほそいと	外こく がく	校内 こうない	古い ふるい	新ぶん しんぶん 新入生 しんにゅうせい

2年

反対の字に色をぬろう!

91 ぶんをよむ。 しい手ぶくろ。

四月に が入ってくる。

92 くからあるおとぎばなし。

93 ははしらない。

94 こくからきたことば。 「ふくはおには」

で元気にあそぼう。

95 みちがくつづいている。 いでぬのをぬう。

うさぎのようすをかくかんさつする。

96 一本のまる。 いはしら。

97 リーダーをすうけつできめる。 いときは千羽のはとがあつまる。

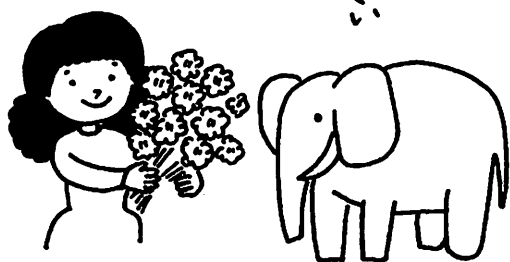
98 つかい方がちがう。 元気ながいる。この川は水がない。

99 ぼくはべんがすきだ。 いでおす。

100 たかしくんは体がい。 うたにをつける。

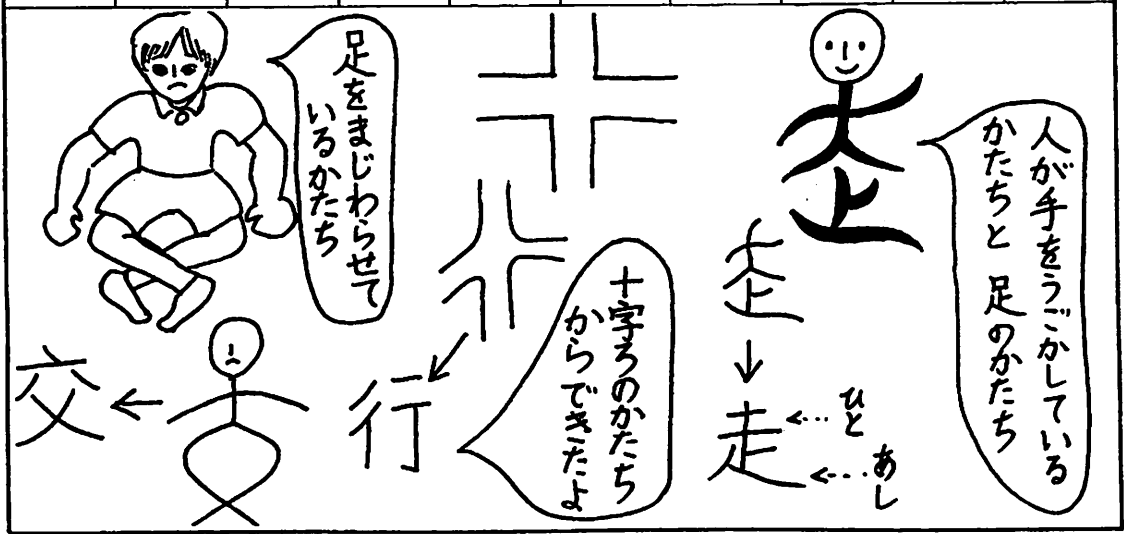
数が多い 多い

形が大きい 大きい



通	交	帰	来	行	走	歩	道	近	遠
ツウ とおる・かよう	コウ まじわる・まじる	キ かえる	ライ くる	コウ・ギョウ いく・ゆく おこなう	ソウ はしる	ホ あゆむ・あるく	ドウ みら	キン ちかい	エン とおい
ㄗ ㄗ ㄗ ㄗ ㄗ ㄗ ㄗ ㄗ ㄗ ㄗ 通 通 通 通 通 通 通 通 通 通	、 一 六 六 六 六 六 六 六 六 六 交 交 交 交 交 交 交 交 交 交	丨 丨 丨 丨 丨 丨 丨 丨 丨 丨 帰 帰 帰 帰 帰 帰 帰 帰 帰 帰	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 来 来 来 来 来 来 来 来 来 来	ノ 夕 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳 行 行 行 行 行 行 行 行 行 行	一 十 土 土 土 土 土 土 土 土 走 走 走 走 走 走 走 走 走 走	丨 丨 丨 丨 丨 丨 丨 丨 丨 丨 歩 歩 歩 歩 歩 歩 歩 歩 歩 歩	、 丨 丨 丨 丨 丨 丨 丨 丨 丨 丨 道 道 道 道 道 道 道 道 道 道	ノ 丨 丨 丨 丨 丨 丨 丨 丨 丨 丨 近 近 近 近 近 近 近 近 近 近	一 十 土 土 土 土 土 土 土 土 遠 遠 遠 遠 遠 遠 遠 遠 遠 遠
交通 (こうつう)	交たい (こうたい) 交りゆう (こうりゅう)	帰こく (きこく)	来月 (らいげつ)	きゆう行 (きゅうこう) 行れつ (ぎょうれつ)	きよう走 (きょうそう)	歩道 (ほどう) 歩き方 (あきかた)	道ぐ (どうぐ) 道ろ (どうろ)	近じよ (きんじよ) 近い (ちかい)	遠足 (えんそく) 遠い (とおい)

2年



- 110 家の前を 車が る。 じこが多い。 じゆくへ っている。
- 109 くの学校と りゆうする。 せん手が たいする。
- 108 学校の り。 おじさんが アメリカから こくした。
- 107 の よてい。 だれかが るだろう。
- 106 きゆう れっ車に のる。
ゆうびんきよくへ 見学に く。 店の前に れつが できる。 よい い。
- 105 せい一ぱい った。 百メートルきよう を した。
- 104 の き。
- 103 を たずねられた。 ろでは あそばない。 金づちは くぎをうつ ぐです。
- 102 小学校の くの 公園。 じよの 犬が ほえた。
- 101 で 山に のぼった。 くに 川が 見える

120

この 地方の で しゃべった。 でん あそび。 お母さんに った。

119

の 本を さがす。 この もの は おもしろい。

118

遠い へ 行く。 おとぎの から やってくる。

117

の 女の子。

116

二年生の は きれいだ。

115

おかの上の かいへ 行く。 犬に える。

114

りんごを に 切った。 に 帰った。

113

なにごとも で やる。 ゆうに あそぶ。

112

まって ください。 きょうは が よくない。 おやつを ふたりで けた。

111

ちょうど十二 に なった。 いよいよ わかれの が きた。 を まもる。



121 赤とんぼが せんにとまった。おばあさんにむかし を いた。

じゅんばんんに して みよう。

122 カードに きこむ。

しゃかいの本を みました。

123 町の に大きく出たじけん。先生のちゅういを 。

124 と で をする。遠足のことを作文に く。

125 が を細ながく切る。赤と青のいろ をください。

126 ぼくのいたずら 。

127 でつかうものさし。けい をまちがえた。

128 出せきしゃの をしらべる。わなにかかったかもの 。

129 しゃかいのテストで をとった。

130 のところをおりまげてください。ちよく をかく。



科	会	社	計	合	当	考	答	丸	直
カ	あろ カイ	やしろ シヤ	はかる ケイ	あろ ゴウ・ガツ・カッ	あたる・あてる トウ	かんがえる コウ	こたえる トウ	まるい・まるめる ガン	なおす・ただちに チョク・ジキ
ノニ千禾禾禾科	ノ人々人会会	、ヲネネ社社	、ニニ言言言言計	ノ人々合合合	一リル当当当	一十土考考考	ノニヤヤヤヤ答答答	ノ丸丸	一十十市育育育直
社会科 教科書	たん生会 出会う	社会 会社	計かく 計る	合計 合しよう	当せん	さん考 考える	かい答	丸やく 丸太	正直 一直線

2年

「丸」と「九」は、
 にてるかな？
 丸 ↓ 丸
 九 ↓ 九

◎ ただしいのは、
 どれでしょう
 当 当 当

科 ↓ 科 ↓ 科
 ひしゃくとさくもつをあわ
 せた字。かけたものぐとい
 いみです。

131

に空へまい上がっていった鳥。年をとった ものもの くつや。

みじかい文に 書き してみましよう。 ちに出かけてください。

132

むかしながらの 黒い やく。 で 船を作る。

133

もんだいの かい を 書く。 おじぞうさまは 何も えない。

134

この本を さん に しなさい。 みんなで えて みました。

135

せんきよで せんした人。 はこの中みを てて ください。

136

たまごは、 三十四こです。 しようたいで うたう。

もんだいを 話し って、みましよう。

137

べん強の かくを たてる。 時間を 正しく る。

138

と 国語が すきだ。 父は に 出かけた。

139

たん の やり方。 えきで、先生に った。

140

の 。

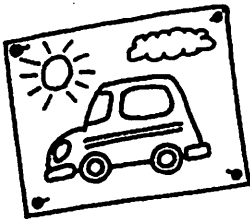


150

プツツと が とだえた。 が 聞こえた。

149

が テレビに出て っている。
 が きこえる。
 が とだえた。 が 聞こえた。



148

フレームンの たい。
空に の の にじが かった。

147 146

このみかんの とく は、大きいことと あまいことです。
 を 見て お話を つくる。 シンデレラの 。

145

ねん土で くまを った。
 ぎょうは、昼まで つづけられた。 に 書きましょう。

144

さんから 木を もらう。 おとうさんが へ 行く。

143

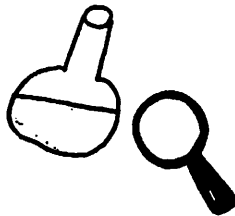
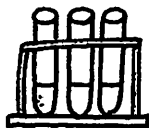
よりも あつい 紙。 くわしい を 立てる。 えい を見る

142


の 時間が しみだ。 かんて 本をかりる。

141

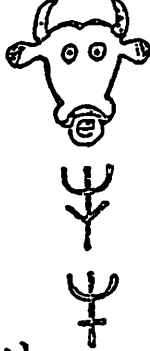
社会科や の 本を 読む。 つくえの 上の せい をしよう。




戸	黒	黄	高	長	魚	牛	馬	鳴	鳥
と コ	くろ・くろい コク	き オウ	たかい コウ	ながい チヨウ	うお・さかな ギョ	うし ギユウ	うま バ	なる・なく メイ	とり チヨウ
一 二 三 戸	一 口 甲 里 里 黒 黒	一 十 廿 廿 廿 廿 廿 廿 黄 黄	一 十 十 古 高 高 高 高	一 十 十 十 長 長 長	一 十 十 十 角 角 角 魚 魚 魚	一 十 十 牛	一 十 十 十 馬 馬 馬 馬	一 十 十 十 可 可 可 可 鳴 鳴 鳴 鳴 鳴	一 十 十 十 戸 戸 戸 鳥 鳥 鳥 鳥
一戸だて 戸口	黒ばん 黒い色	黄金 黄色	高い木 高校生	船長	金魚 魚市場	牛にゆう め牛	馬車 けい馬	ひ鳴 鳴き声	白鳥 小鳥



魚



このでわかる。
牛



鳥 ← 鳥 ← 鳥
鳴 ← 鳥
鳥が口を
あいて鳴く。
目も足も
点に
なつた。

2
年

160

だての 家が ほしい。

に、紙が はって あった。

159

文しよを ばんに 書きます。
 の けむりが 出て います。

158

い、きれいな ちようちよ。

157

を どっさり あげよう。

156

い木にのぼる。

155

の おにいさん。 せが ずいぶん なく なったね。

154

ねえさんと すくいを した。
 の 見学に 行く。

153

が たくさん とまって いる。 草けい 。

152

に ゆうが とどくまで まつ。 め が 草を 食べて いる。

151

うつくしい を 見た。
 の たまご。

150

きゆうに ひ が 聞こえた。

